



評価はI～VIIの大項目、128の小項目から構成されている。「4」が当てはまる、「3」がほぼ当てはまる、「2」がやや当てはまる、「1」が当てはまらない、となっている。

### I. 教育理念・目的・目標

評価は3.8と最も高かった。貴校のアドミッション・ディプロマポリシーが学生便覧やシラバスなどに示され、内容は教育目的・教育目標につながっており、本校の個性や特徴を明確にしている点が評価された。

### II. 教育課程経営

教員個々は、教育課程と授業実践、教育評価との関連性を概ね理解していること、教育内容は法令との整合性があり、教育目標が到達できる内容になっていることが評価された。また、実習担当者会議やカリキュラム会議、教員会議、実習指導者会議でPDCAを実践し、教育への反映を継続的に行っている点も評価された。

### III. 教授・学習・評価過程

「実践力のある看護師の育成」をするために問題解決過程を含む看護技術教育について重点的に考え、教員間で検討して共通認識して教授していることが評価された。また、パフォーマンス評価を取り入れるなどその講義に適した評価を行う努力をしている点も評価された。

### IV. 経営・管理過程

管理診療会議、幹部会議等での母体病院の経営状況を含む学校の財政基盤について、情報共有がなされ、問題点に対して改善をはかるなど経営に参画している点が評価された。

### V. 入学

山口県においても例にもれず、少子化が進み、学生確保には苦慮している。しかし、指定校を中心に学校訪問の計画的な実施、進路ガイダンスへの積極的な参加、オープンスクールの開催、出張講義を設けることで受験生の確保につながっている点が評価された。

### VI. 卒業・就職・進学

昨年度は母体病院の採用状況が厳しく、母体病院への就職者の割合が少なくなっている。しかし、国家試験について全員合格を果たし県内の医療従事者育成に貢献し、高い就職率を確保できている。

### VII. 地域社会／国際交流

在宅看護論実習等の院外実習の機会を通して、地域のニーズを把握する取り組みをしている。また、岩国市協議会主催の行事にボランティアとして参加するという実績を継続している。国際交流においては米軍基地内のクリニックとの交流の機会を継続して実施している点も評価された。

### VIII. 研究

教員研究助成金、施設を超えた領域別の教員研究活動の実践、研究活動成果の学会発表等の実績から、研究活動の財政・環境については十分保障されている点が評価された。

平成30年11月29日に外部評価者を含む相互評価を受審した。

その結果、項目I（優8、良8）、項目II（優15、良17、可1）、項目III（優8、良9）、項目IV（優21、良17）、項目V（優2、良6）、項目VII（優1、良8、可2）、項目VIII（良4）であった。

評定平均値3.4であった。